

**新企画展のご案内**

明野歴史民俗資料館では、12月17日より第9回企画展「馬のいた風景」展を開催しています。ぜひ足をお運びください。  
(内海)

明野町を含む峡北地方は、昔から「馬」と縁のある地域でした。平安時代には穂坂牧と小笠原牧と呼ばれる牧があり、馬が繁殖/飼育される光景が広がっていたと思われます。穂坂牧は現在の葦崎市穂坂町を中心に広がっていたとされる「御牧」です。そこで飼育された馬のうち優良なものは、毎年八月に行われる「駒牽」という行事で天皇に献上されました。小笠原牧は現在の明野町小笠原を中心に広がっていたとされる後院領の牧で「後院」つまり退位した天皇である上皇に馬を献上するための牧でした。



10～11世紀頃には、「御牧」の制度は衰退していったと考えられていますが、その後も峡北地方から馬がいなくなってしまう訳ではなく、引き続き馬が多く産出されていたようです。

戦前頃まで、人々の生活に馬は欠かせない存在でした。農耕馬として代掻きをする時や堆肥を運ぶ時、荷馬として山から切り出した木材を運搬する時、馬は活躍していました。

戦争で優良な馬は徴集されてしまい、戦後は農耕に機械が導入されたため、徐々に馬の姿は減っていきましたが、その「馬のいた風景」の記憶は人々の心に残っています。



**探してみよう！  
北杜市内にある  
ばとうかんのん  
馬頭観音**

「馬のいた風景」を現在に伝えるものの一つに、石造馬頭観音像があります。馬頭観音は元々、畜生道に落ちた人々を救うとされる観音でしたが、馬頭を頂いているため、後に馬の守り神とされました。人々は、飼っている馬の安全を願うためや、死んだ馬の供養のために馬頭観音像を奉納しました。そのため、馬がよく通った辻や、事故が起きやすかった川の側などに、多くの馬頭観音像が残っています。今回は、北杜市内にある特徴的な馬頭観音像をいくつかご紹介します。

**明野町内で一番古いとされる馬頭観音像（浅尾新田地区）**  
元文二年（1737年）の銘有り

**馬の線刻付馬頭観音像（明野町原地区）**

**道標付馬頭観音像（明野町戸崎地区）**  
右 ミタケ 左 エグサ

**明野町唯一の三面八臂馬頭観音像（戸崎地区）**

「臂」は手の単位。正面で「馬口印（まこういん）」を結ぶ二臂以外は法具を握っている。

**「富蔵山」と彫られた馬頭観音像（高根町箕輪新町）**

「富蔵山」とは長野県筑北村にある富蔵山岩殿寺（がんでんじ）のことで、馬頭観音を本尊とする寺です。武田信玄が深く帰依したことから、山梨県や長野県で「富蔵山」と彫ると、馬頭観音像と同格の扱いを受けます。

**「土引きのかん」が奉納されている馬頭観音像（高根町箕輪新町）**

山から切り出した木材を馬に取り付けるのに使ったのが「土引きのかん」。馬に由縁のあるもののため奉納されたと思われます。



## ほくと文化体験教室実行委員会

### 第2回実行委員会の実施のご報告

12月15日に、小中学生対象の体験教室 / スペシャルイベント「ドキドキまいぶんシリーズ」の実行委員会である、「ほくと文化体験教室実行委員会」の会議がありました。委員の皆様には会議後、スペシャルイベント「綿から何ができるかな？」の視察をしていただきました。



今回のイベントは、資料館横にある体験農場での綿作りと連動した企画です。体験農場で収穫した綿花で、民具を使って「綿繰り(綿から種を取り除く作業)・自作の綿紡ぎ機を使っての「綿紡ぎ」を体験しました。その後、できた糸を木枝などに織物のように飾り付けて、オーナメントを作りました。

畑で採れたふわふわの綿花が、糸という「線」になり、それが「面」になる、という過程を、子ども達は体験することができました。実行委員の皆さんもとても興味深く視察され、中には子ども達に混じって体験をされる方もいました。

かつて、自分達のおばあちゃんや曾おばあちゃんがしたであろう手仕事を体験した子ども達。道具を何も使わずにやるのは大変な作業ばかり。そこから綿繰り機や糸車が生まれてきたという、道具の原点を体感できたことと思います。



## = ドキドキ!まいぶんシリーズ =

2008年1月の予定~



### たのしい手話教室

クイズやゲームをしながら、手話を覚えよう  
日にち：1月11日(金) 午後5時~7時

### はじめての囲碁教室

楽しく囲碁を学ぼう! 初心者でも大丈夫  
日にち：1月17日(木) 午後5時~7時

### Special イベント:手作り和菓子でお茶会だ!

手作り和菓子を食べながら、お茶をいただく  
日にち：1月20日(日) 午後1時半~3時半

### やさしい茶道教室

お茶のお作法を覚えよう。美味しいお菓子もあるよ!  
日にち：1月23日(水) 午後5時~7時

### おばあちゃんの知恵袋

オリジナル羽子板を作って、羽根突きをしよう  
日にち：1月25日(金) 午後5時~7時

### Let's 縄文体験!!

まいぶんで行っているお仕事を体験してみよう!  
日にち：1月28日(月) 午後5時~7時

### おばあちゃんの知恵袋

カワイイかごを編んでみよう!  
日にち：1月31日(木) 午後5時~7時

ドキドキ!埋文シリーズで、いろんな体験を楽しもう 参加者申し込み受付中です!  
お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。  
TEL / FAX : 0551-25-2019

## = 会員募集 =

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい  
活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい  
イベントを通じてさまざまな人と交流したい

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円 年会費 1,000円

## = 編集後記 =

新学芸員が赴任して早一年が経ちました。地域の歴史や文化、伝統行事の保存・活用において、少しでも皆様のお役にたてておりましたら幸いです。来年度もかやぶんをよろしく願いいたします。

かやぶんかわら版 第33号

平成19年12月26日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所  
〒408-0204 北杜市明野町上手8310  
明野歴史民俗資料館内

TEL / FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>